

# 北海道労働委員会に救済申立を敢行！！

## 団体交渉の拒否は労働組合法違反の不当労働行為だ！！

2022年7月20日に大学側は宿舎廃止に関わる「基本方針（案）」に関する組合との交渉の「打ち切り」を宣言し、7月25日に役員会での決定を強行しました。これを受け、組合は9月21日に、基本方針に関する団体交渉を改めて申し入れましたが、大学は、組合が基本方針を受け入れない限り交渉には応じられないとする驚くべき暴挙に出ました。これは、明確に労働組合法違反の不当労働行為にはかきりません（同法第7条違反）。

## 労働委員会に救済申立、道庁にて記者会見！！

10月7日に、組合は北海道労働委員会に労使紛争の仲介を求めるあっせんを申し入れました。労働委員会は双方に歩み寄りを求めたものの、大学側は「基本方針」の撤回を否定したため、組合は止むを得ず、あっせんを取り下げました。基本方針によって生じている宿舎居住者の不利益を解消、軽減するには、基本方針を対象とする団体交渉が必要です。そこで、組合は12月14日の臨時大会にて救済申立を行うことを議決し、12月23日に、大学に対して、9月21日付の基本方針を対象とする団体交渉に応じ、かつ誠実に交渉を行うように命じる救済命令の発出を求める救済申立を北海道労働委員会に行いました。その後、道庁記者クラブで記者会見を行い、宿舎廃止問題に関する当局の不当性を広くアピールしました。

北大宿舎廃止団体交渉の打ち切りは「不当」  
道労委に救済申し立て  
北大教職員組合（山田幸司執行委員長）は23日、北大が教職員向け宿舎の廃止を巡る団体交渉を一方的に打ち切ったことなどが不当労働行為に当たるとして、道労働委員会に救済を申し立て、受理された。  
申立書などによると、北大は昨年10月、職員宿舎の使用について国の方針などを理由に、「福利厚生（生活支援）目的での使用は行わない」として札幌市内の一部宿舎を2025年3月末で廃止し、残る宿舎の入居条件を外国人研究者などに限定する計画を提示。具体的な根拠や資料を示さないまま、文書で一方的に団体交渉の終了を宣言したなどとしている。廃止された職員ら最大十人が影響を受けるとみられる。

救済申立後に道庁記者クラブにて記者会見を実施、翌24日の北海道新聞全道版に記事が掲載！

労働組合法は「実質的に誠実な交渉を行わないこと」も不当労働行為として禁じている。記者会見で山田委員長は「不利益な内容を押し付け、組合の質問に答えようとしないことは不誠実だ」と批判した。  
北大は「申し立ての内容を承知しておらずコメントできない」としている。（田口博彦）

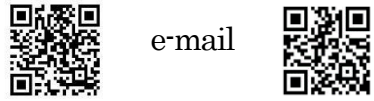
## 救済申立カンパへのご協力と組合加入をお願いします！

今回の救済申立にあたっては弁護士等の費用がかかるため、組合は12月14日に臨時大会を開催し、特別会計の設置を議決しました。裁判等に備えて積み立てている救済積立基金から85万円を取り崩して対応します。そこで、今回の救済申立の費用を賄うためのカンパを募集します。（口座情報は以下）

また、今回の申立が決着した後は団体交渉を改めて行うこととなります。数は力であり、宿舎居住者の皆さんの意見・希望を団体交渉に反映したいと考えています。宿舎居住で組合に未加入の皆さんはぜひ組合に加入し、ともにたたかきましょう。（加入希望の方は以下のメールアドレスまでご連絡ください）

- ◆ゆうちょ記号番号 19070-18620161（支店名 九〇八 番号 1862016） 名義人：北海道大学教職員組合
- ※カンパ総額が申立費用を超えた場合、組合の救済積立基金に繰り入れさせていただきます。
- ※救済カンパに送金された方は、確認のため振込人の名前とカンパ金額、振込日を組合メールアドレスまでお知らせください。

- 1 組合HP：大学側が提示した資料「基本方針（案）」「宿舎アンケート調査の結果」、組合が提出した「質問状」と大学側の「回答」、第1回団体交渉での大学側の提供資料など一連の資料が掲載されています。
- 2 連続学習会「宿舎廃止問題について」（現時点で3回実施）2021年11月22日、2022年2月28日、10月24日の映像資料がHPに掲載されています。



# ***Petition for relief to the Hokkaido Labor Relations Commission submitted on Dec 23!***

## **Refusal to collective bargaining is a violation of the Labor Union Law!!**

On July 20, 2022, Hokkaido university declared "termination" of negotiations with our union concerning the "Draft Basic Policy" on the abolition of staff housing, and the board of directors ratified it on July 25. On September 21, the union again offered a collective negotiation on the Basic Policy, but the university surprisingly responded that it could not negotiate unless the union accepted the Basic Policy. This is clearly an unfair labor practice, violating the Labor Union Law (violation of Article 7).

## **The union has submitted a petition and held a press conference!!**

The union applied to the Hokkaido Labor Relations Commission for mediation of labor-management disputes on October 7. The Labor Relations Commission asked both sides to compromise, but the university denied withdrawing its "basic policy," so the union had no choice but to withdraw the mediation. We need to negotiate collectively for the Basic Policy in order to eliminate or alleviate the disadvantages to the housing residents caused by the Basic Policy. Therefore, the union voted to submit a petition for relief at a special meeting on December 14 and, on December 23, submitted a petition for relief with the Hokkaido Labor

Relations Commission requesting the issuance of a relief order ordering the university to accept the collective negotiation and negotiate in good faith with respect to the Basic Policy dated September 21. Afterwards, we held a press conference at the Hokkaido Government Press Club to make a broad appeal for the unfairness of Hokkaido University regarding the abolition of staff housing.

北大宿舍廃止団交  
打ち切りは「不当」  
道労委に救済申し立て  
北大教職員組合（山田幸  
司執行委員長）は23日、北  
大が教職員向け宿舎の廃止  
を巡る団体交渉を一方的に  
打ち切ったことなどが不当  
労働行為に当たるとして、  
道労働委員会に救済を申し  
立て、受理された。  
申立書などによると、北  
大は昨年10月、職員宿舎の  
使途について国の方針など  
を理由に「福利厚生（生活  
支援）目的での使用は行わ  
ない」とした上で札幌市内  
の一部宿舎を2025年3  
月末で廃止し、残る宿舎の  
入居条件を外国人研究者な  
どに限定する計画を提示。  
具体的な根拠や資料を示さ  
ないまま、文書で一方的に  
団体交渉の終了を宣言した  
などとしている。廃止され  
れば職員ら最大千人が影響  
を受けるとみられる。

**We held a press conference at the Hokkaido Government Press Club after the petition. On December 24, the Hokkaido Shimbun ran the news.**

労働組合法は「実質的に  
誠実な交渉を行わないこ  
と」も不当労働行為として  
禁じている。記者会見で山  
田委員長は「不利益な内容  
を押し付け、組合の質問に  
答えようとしないことは不  
誠実だ」と批判した。  
北大は「申し立ての内容  
を承知しておらずコメント  
できない」としている。  
(田口博久)

## **Please help us with a donation toward the petition for relief and join our union!**

Expenses for attorneys and other costs for this petition for relief are necessary. The union held a special general assembly on December 14 and decided to establish a special account. 850,000 yen will be paid out of the Relief Reserve Fund of the union, which is reserved for court proceedings, etc. We are seeking donations to help cover the costs of this petition for relief (Account information below). The union will reopen a collective negotiation after this petition is resolved. The power of the union comes from the number of members, and we hope to reflect the opinions and wishes of all housing residents in our negotiation. We invite those who live in housing and have not yet joined the union to join and fight together with us (Applicants should contact us at the e-mail address below).

◆ゆうちょ記号-番号 19070-18620161（支店名 九〇八 番号 1862016） 名義人：北海道大学教職員組合

- ※We will transfer any excess to the union's relief reserve fund if the amount of the donation exceeds the cost of the claim.
- ※Please help us by informing your name, the amount, and the date of the transfer to the union e-mail address after your donation.

1. Union website includes the "Basic Plan" and "Results of Accommodation Questionnaire Survey," the "Questionnaire" submitted by the union and the university's "Reply," and materials provided by the university at the first round of collective negotiation.
2. Video materials from the study sessions "Abolishing housing" on Nov 22, 2021, Feb 28 and Oct 24, 2022 are available on our website.